



2024年5月1日

## デリスキングを目指す EU の対中国貿易

公益財団法人 国際通貨研究所  
経済調査部 上席研究員 篠原令子

経済安全保障の重要性が急速に高まる中、主要国で経済安全保障政策の策定が相次いでいる。EU（欧州連合）は昨年6月、初めての包括的な経済安全保障戦略を発表し、本年1月には、経済安全保障を強化するための政策パッケージを発表するなど対応を加速している。戦略策定の背景として、「特定の経済的依存に内在するリスクが浮き彫りになっている」とし、「重要分野におけるリスクの軽減（デリスキング）と技術的優位性の促進が求められている」<sup>1</sup>としている。対象国を挙げていないものの、中国を念頭に置いているとみられている。

中国に対しては、フォンデアライエン欧州委員会委員長は昨年3月の講演<sup>2</sup>で、「中国から切り離すことは実現不可能であり、欧州の利益にもならないと考えている。私たちの関係は白か黒かではなく、私たちの対応も白か黒かではない。だからこそ、デカップルではなく、デリスクに焦点を当てる必要がある」と明言している。

そもそもEUはどれくらい中国に依存しているか、貿易面の大きな姿を確認しておきたい。まず、EUの対中貿易収支（財、以下同）は赤字が続いており、ここ数年は輸入増加を受けて赤字幅は拡大している（次頁第1図）。

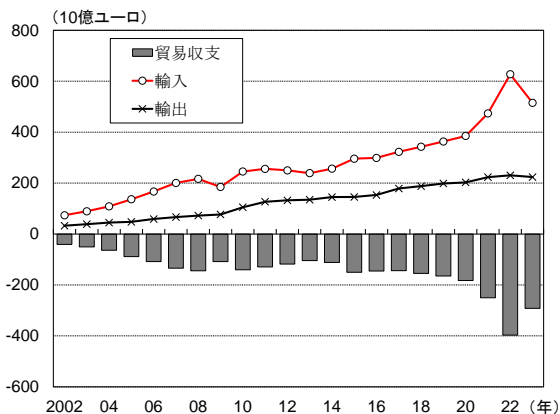
<sup>1</sup> European Commission, “JOINT COMMUNICATION TO THE EUROPEAN PARLIAMENT, THE EUROPEAN COUNCIL AND THE COUNCIL ON “EUROPEAN ECONOMIC SECURITY STRATEGY”, June 20, 2023

(<https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=CELEX%3A52023JC0020&qid=1687525961309>)

<sup>2</sup> European Commission, “Speech by President von der Leyen on EU-China relations to the Mercator Institute for China Studies and the European Policy Centre”, March 30, 2023

([https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/speech\\_23\\_2063](https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/speech_23_2063))

第1図：対中貿易収支



(資料) Eurostatより国際通貨研究所作成

第1表：対中輸出入：品目別（2023年）

| (10億ユーロ、%) | 輸出額   | シェア   | 輸入額   | シェア   |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| 食料品・飲料     | 12.7  | 5.7   | 5.7   | 1.1   |
| 原材料        | 10.4  | 4.7   | 4.1   | 0.8   |
| エネルギー      | 0.8   | 0.4   | 4.6   | 0.9   |
| 化学製品       | 39.8  | 17.8  | 43.4  | 8.4   |
| 機械・輸送機器    | 114.3 | 51.2  | 294.8 | 57.3  |
| その他製品      | 42.6  | 19.1  | 160.9 | 31.3  |
| その他        | 2.9   | 1.3   | 1.0   | 0.2   |
| 合計         | 223.5 | 100.0 | 514.4 | 100.0 |

(資料) Eurostatより国際通貨研究所作成

EUにとって中国は最大の輸入相手国であり、輸入の20.5%（域外、2023年。以下同）を占める。品目別では「機械・輸送機器」の輸入額が大きい（第1表）。さらに細かい分類では、「通信機器」が圧倒的に多く、次いで「電気機器」、パソコンなどの「自動データ処理機械」となっている。輸出については、中国は8.8%を占め、米国（19.7%）と英国（13.1%）に次いで第3位である。輸出額でも「機械・輸送機器」が大きく、細かい分類では「自動車」が最大、次いで「医薬品」、「その他機械」、「自動車部品」となっている。EUの経済安全保障戦略の対象分野は多岐にわたるが、先端半導体や量子コンピューター、AI等の技術セキュリティ・技術流出リスクへの対応や半導体の安定供給等を目指していることを踏まえると、「通信機器」に関する部品・技術等は中国依存度を下げていくとみられる。他方、消費者のメリットにもなる廉価な一般消費財の輸入は認めると見込まれる。

第2表：EU加盟国の対中貿易：上位5カ国（2023年）

|   | 輸出上位5カ国 | 輸出額    | 各国の域外輸出に占めるシェア(%) |   | 輸入上位5カ国 | 輸入額     | 各国の域外輸入に占めるシェア(%) |
|---|---------|--------|-------------------|---|---------|---------|-------------------|
| 1 | ドイツ     | 97,303 | 13.6              | 1 | オランダ    | 116,942 | 25.7              |
| 2 | フランス    | 25,017 | 9.3               | 2 | ドイツ     | 94,525  | 20.0              |
| 3 | オランダ    | 22,299 | 8.5               | 3 | イタリア    | 47,589  | 18.7              |
| 4 | イタリア    | 19,172 | 6.3               | 4 | フランス    | 42,023  | 16.3              |
| 5 | アイルランド  | 8,875  | 7.9               | 5 | スペイン    | 36,677  | 18.9              |

(資料) Eurostatより国際通貨研究所作成

加盟国別では、ドイツが輸出入ともに大きい（第2表）。ドイツの対中輸出で最も大きい品目は「自動車」で、EUの自動車輸出の78%をドイツが占めている。対中依存度が高いドイツは、EUと足並みを揃える形で昨年6月に「国家安全保障戦略」を発表し、7月発表の「中国戦略」では、デリスキングが急務であり、デカップリングは追及していないと明言している。EU全体として、且つドイツのように国として強いつながりを持つ中国への依存度を下げてデリスキングできるかは、政策がどの程度具体的に実現するかにかかっており、その進展が注視される。

以上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2024 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: Nihon Life Nihonbashi Bldg., 8F 2-13-12, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027, Japan

Telephone: 81-3-3510-0882

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8 階

電話 : 03-3510-0882 (代)

e-mail: [admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

URL: <https://www.iima.or.jp>